

事業項目	数値目標
①第2次総合計画の実現	各部長マニフェスト達成率 100%
②移住定住の推進	定住促進助成金支給件数 25 件
③ふるさと納税の推進	総社産米寄付俵数 2 万俵
④情報セキュリティの徹底	情報セキュリティ事故件数 0 件
⑤積極的な広報の推進	動画配信件数 100 件
柳澤 泰洋 総合政策部長	
①人材育成の推進	内部研修 5 回実施
②健全財政の推進	実質公債費比率 10.4%以下
③計画的な財政運営	財政調整基金残高 30 億円以上
④市税の口座振替の推進	納税義務者の 60%
⑤災害対策	防災備蓄倉庫から遠隔地への分散備蓄 3 か所
難波 敏文 総務部長	
①マイナンバーカードの普及	申請率総人口比 10%以上
②総社市新生活交通「雪舟くん」の利用促進	1 日平均利用者数 250 人
③消費者被害未然防止のための出前講座開催	消費者被害未然防止出前講座開催回数 30 回
④人権啓発の推進	「男女共同参画フォーラム」への男性参加率 25%以上
⑤そうじゃ吉備路マラソンの推進	アンケート満足度 85 点
林 圭一 市民生活部長	
①誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる地域社会を形成	そうじゃ みんなで見守るネットワーク協力事業者 100 社以上
②高齢者が元気で生きがいをもって活躍するまちづくりを推進	高齢者 (55 歳以上) の就職 350 人
③「ひきこもり」支援の推進	支援開始者 50 人
④国保特定健康診断受診率の向上	受診率 30%
⑤子育て世代包括支援センターの機能強化	子育てほっとルーム利用者 1500 人
平野 悦子 保健福祉部長	
①そうじゃ地・食べ事業の推進	そうじゃ小学校ライスカレー全 15 校開発
②農業基盤整備事業の推進	平成 29 年度計画に対する工事発注率 90%
③魅力ある観光情報の発信	「総社市観光情報」のフォロワー数 1000
④地域商業活性化支援	まる得サービス事業の参加事業者数 80 件
⑤企業誘致の推進	企業立地件数 1 社
中田 暢彦 産業部長	
①事故防止対策による安全・安心なまちづくり	転落防止柵設置などの対策延長 1000 m
②市道、橋梁の老朽化対策	橋梁点検実施 205 橋
③憩いと安らぎを与えてくれる快適な公園の管理	各公園の点検年間 4 回実施
④建築物の安全確保の推進	耐震診断及び耐震改修の補助件数 15 件
⑤市道改良などの計画的な事業実施	発注工事年度内完成 100%
森 啓典 建設部長	
①出前スクール・出前講座の実施	出前スクール・出前講座の実施 23 講座
②自然環境保全・保護意識の啓発	自然環境保全啓発イベント参加者数 310 人
③安全な水の安定的な供給	耐震管取替延長 3500 m
④マンホールポンプの緊急対応発生件数の減少	緊急対応発生件数 44 件以下
⑤水洗化の向上	水洗化率 90.9%
川原 玲子 環境水道部長	
①心の教育の推進	学校評価アンケートで、教育大綱の「礼儀正しい子ども」に関する項目の肯定的回答 85%以上
②待機児童ゼロの維持	保育士登録による新規の保育士就職者 10 人
③学校施設の整備・充実	エアコン設置校 小学校 5 校 (74 教室) 中学校 4 校 (12 教室)
④生涯スポーツの推進	市主催事業への参加 1 万 1400 人
⑤文化芸術活動に接する機会の拡充	総社吉備路文化館の入館者 8100 人以上
服部 浩二 教育部長	
①高齢者家庭の防火診断を実施	戸別訪問広報 100 世帯実施
②地域防災力の強化	避難所などの関係者に対する防火・防災指導 15 か所実施
③応急手当の普及啓発	講習会参加学生数 500 人
④女性消防団員の活躍推進	女性団員新規入団 10 人以上
⑤ファイヤーキッズパトロールの強化	パトロール 200 回実施
中山 利典 消防長	

ひきこもりは 怠けではありません

ひきこもりには人それぞれの原因があります
正しい理解を深めましょう

このようなことを思ったことはありませんか？

- 〇〇さん家の●●さん、何年も家から出てないじゃない？
- 夜中コンビニには行っているらしいけれど、働かずに親に頼っているみたい。もう 40 歳近いんじゃないか？
- 親も親だわ、力づくで引っ張り出して働かせなきゃ。だってひきこもりは怠けているだけでしょ。



ひきこもりの人の多くは、心に葛藤を抱えています

ひきこもりの人は、何らかの理由で元気や自信が無くなり、表面上は怠けや甘えに見えても、強い引け目や挫折感、劣等感など、心に深い葛藤を抱えています。これまでイメージされていた「ひきこもり像」は誤解で、近年、ひきこもりは怠けではないということが分かってきました。

市では、「義務教育終了後であって、約半年以上、社会から孤立している状態」をひきこもり状態としています。

- ・仕事や学校に行っていない
- ・家族以外の人との交流がない
- ・自宅から出ない
- ・自分の興味のある場所には行くが、人との会話は避ける

上記のように、社会的な関わりが長期にわたって失われている状態です。



ひきこもりの原因はさまざまで、精神障がいや発達障がい原因と考えられる人もいます。また、「会社での人間関係などにストレスを感じ、家から出られなくなった」、「学校になじめず、周りの人が信頼できなくなった」、「不登校がきっかけで、家に閉じこもった状態が続いている」など、追い込まれた結果、ひきこもってしまった人も少なくありません。

あきらめず抱え込まずに相談を！

市では、4月から市社会福祉協議会内にひきこもり支援センター“ワンタッチ”を開設しました。専門のスタッフが、ひきこもりの当事者やその家族の悩みについて、一緒に考えます。

家族からの相談でもかまいません。不安に思っていることがあれば、まずは話してみませんか。



専門の職員が相談に乗ります

問い合わせ 市ひきこもり支援センター“ワンタッチ” (☎08597、Eメール soudan@sojasyakyo.or.jp)